

書名	松原の教育 平成元年度版
書名かな	まつばらのきょういく へいせいがんねんどばん
編著者名	管理部総務課（編）、社会教育部社会教育課社会教育係
編集機関	松原市教育委員会
発行機関	松原市教育委員会
発行年月日	1989年12月
郵便番号	580-8501
電話番号	072-334-1550
住所	大阪府松原市阿保 1-1-1
備考	文化財に関する頁及び奥付のみを電子化。

PDF ファイル制作日：2021 年 11 月 16 日

PDF ファイル制作者：松原市教育委員会事務局 教育総務部 文化財課

5. 文化財保護

(1) 文化財保護の意義

戦後、わたしたちの生活は大きな変化を遂げてきた。そしてわたしたちをとりまく環境も大きく変化してきている。

高度経済成長のうねりのなかで、近代的で文化的な生活を営むという目標とはうらはらに、公害・騒音・住宅事業の悪化・自然破壊など、枚挙にいとまがないほど生活環境は悪化し、様々な社会問題を生み出している。

このような社会の急激な変化は、文化財にもまた深刻な影響を投げかけている。大規模な開発や、蚕食的な無秩序開発によって、町の装は一変し、地中や水底に眠る埋蔵文化財は破壊され、代々受け継がれてきた伝統や、慣習は見捨てられ、打ちこわされて、記憶のなかからさえも忘れ去られようとしている。

しかし、激動する今日の社会のなかで、ともすれば現在にのみ目を奪われがちな我々ではあるが、我々の現在は忽然としてあらわれたものではなく、長い歴史のなかで生まれ、生み出されたものであるということを考え直さずにはいられない。

わたしたちは、正しく過去を理解し、現在を見つめて、明日に生きねばならないし、その意味で文化財は、我々の過去を知り、明日に生きる手掛りであり、人類が悠久の時間のなかで築き上げた財産である。

また、このように過去から未来にわたる人類の文化という立体的な厚みの中で生きる我々にとって、そのような豊かさをともなった生活こそ、真に文化的な生活といえる。

文化財は保護の手をさしのべなければ確実に消えていく。

わたしたちは、今に生きる歴史の開拓者であるとともに、わたしたちの残した遺産（文化財）の保護者でなければならない。

(2) 指定文化財・周知の埋蔵文化財包蔵地

① 大阪府文化財保護条例による指定文化財

種 別	条 称	所 在 地	所 有 者
天然記念物	来迎寺のいぶき	丹南3丁目1番22号	来迎寺（塩野泰通）

② 埋蔵文化財包蔵地一覧

No.	名 称	所 在 地	遺跡の種類	摘 要
1	立部遺跡	立部・岡4丁目	奈良時代～近世 集落跡	
2	丹比柴籬宮跡	上田・新堂 ・柴垣	古墳時代 宮殿跡	反正天皇の宮推定地。範囲内からは縄文～近代に至る各時期の遺構が検出されている。
3	樋野ヶ池窯跡	上田6丁目	古墳時代 須恵器窯跡	6Cの須恵器窯器。開発が目前に迫り、消滅寸前の状態である。
4	上田町遺跡	上田・阿保・田 井城・高見の里	古墳時代～中世 集落跡	昭和47年松原郵便局新築工事に伴って発見。
5	大塚山古墳	西大塚1丁目	前方後円墳	雄略天皇陵と比定されている。
6	三宅西2丁目 所在遺跡	三宅西2丁目	古墳、平安時代 ～中世集落跡	昭和61年共同住宅建設に伴い発見
7	河合遺跡	河合	弥生～古墳時代 散布地	古くから弥生土器、石鏃等の出土が知られる。
8	三宅遺跡	三宅	古墳時代 屯倉推定地	「依羅屯倉」推定地
9	山ノ内古墳跡	上田5丁目	前方後円墳	全壊
10	観音寺跡	立部2丁目	平安時代 寺院跡	
11	大津道（長尾街道）		奈良時代 古道	
12	大和川今池遺跡	天美西・ 天美我堂	弥生時代～給世 集落跡	昭和52年下水処理場建設に伴い発見。
13	布忍遺跡	北新町・南新町	平安時代 古道	
14	大堀町所在遺跡	大堀町	奈良時代～中世 集落跡	昭和60年倉庫建設に伴い発見。
15	丹比道 （竹之内衙道）		奈良時代 古道	
16	高見の里遺跡	高見の里	縄文時代～中世 集落跡	昭和59年分譲住宅建設に伴い発見
17	別所遺跡・別所城跡	別所町	戦国時代 城跡	
18	大堀遺跡	大堀町	古墳～奈良時代 集落跡	

No.	名 称	所 在 地	遺跡の種類	摘 要
19	津堂遺跡	小川町	古墳～平安時代 集落跡	
20	一津屋古墳	一津屋町	前方後円墳	現在墳頂には巖島神社が建っている。
21	西大塚1丁目 所在遺跡	西大塚1丁目	中世 集落跡	現在60年店舗建設に伴い発見。
22	丹上遺跡	立部	古墳～平安時代 集落跡	
23	一津屋遺跡	一津屋町	縄文時代～近世 集落跡	昭和59年共同住宅建設に伴い発見
24	柴垣2丁目 所在遺跡	柴垣2丁目	平安～鎌倉時代 集落跡	昭和61年道路建設に伴い発見
25	観音寺遺跡	立部・西大塚 ・柴垣	奈良時代～中世 集落跡	
26	阿保2丁目 所在遺跡	阿保2丁目	古墳時代 集落跡	昭和58年分譲住宅建設に伴い発見
27	南新町遺跡	南新町	古墳～奈良時代 集落跡	昭和57年下水道布設に伴い発見
28	瓜破遺跡	三宅	弥生時代 集落跡	
29	権現山古墳	三宅中6丁目	古墳時代	全壊
30	難波大道		奈良時代 古道	
31	狐塚古墳	天美西	古墳時代 古墳	
32	丹南3丁目 所在遺跡	丹南3丁目	平安時代～近世 集落跡	昭和60年工場建設に伴い発見。
33	北新町4・5丁目 所在遺跡	北新町 4・5丁目	弥生～鎌倉時代 集落跡	昭和59年下水道工事に伴い発見。
34	船堂東遺跡	天美我堂	飛鳥～鎌倉時代 集落跡	
35	北新町6丁目 所在遺跡	北新町6丁目	平安～室町時代 散布地	昭和59年共同住宅建設に伴い発見
36	永興寺跡	北新町 1・3丁目	平安時代 寺院跡	
37	丹南1丁目 所在遺跡	丹南1丁目	古墳～室町時代 集落跡	昭和59年倉庫建設に伴い発見。

No.	名 称	所 在 地	遺跡の種類	摘 要
38	長原遺跡	犬堀町	縄文～室町時代 集落跡	
39	南新町4丁目 所在遺跡	南新町4丁目	古墳時代 集落跡	昭和60年住宅建設に伴い発見。
40	南新町2・3丁目 所在遺跡	南新町 2・3丁目	中世 集落跡	昭和59年下水道工事に伴い発見。
41	岡7丁目所在遺跡	岡7丁目地内	弥生時代～中世 集落跡	
42	岡5丁目所在遺跡	岡5丁目	平安時代～近世 集落跡	昭和60年分譲住宅建設に伴い発見
43	若林環濠集落跡	若林町	中世 集落跡	
44	岡1丁目所在遺跡	岡1丁目	古墳～奈良時代 散布地	昭和61年河川改修工事に伴い発見
45	天美北3丁目 所在遺跡	天美北3丁目	弥生時代～中世 散布地	昭和62年寮建設に伴い発見。
46	阿保7丁目所在遺跡	阿保7丁目	平安時代～中世 集落跡	昭和62年共同住宅建設に伴い発見
47	小川町所在遺跡	小川町	古墳時代 集落跡	昭和61年分譲住宅建設に伴い発見
48	田井城2丁目 所在遺跡	田井城2丁目	弥生～古墳時代 集落跡	昭和62年店舗建設に伴い発見。
49	高見の里2丁目 所在遺跡	高見の里 2丁目	弥生～平安時代 集落跡	昭和62年分譲住宅建設に伴い発見
50	南新町5丁目 所在遺跡	南新町5丁目	中世 集落跡	”
51	北新町5丁目 所在遺跡	北新町5丁目	中世 集落跡	昭和62年共同住宅建設に伴い発見
52	三宅中8丁目 所在遺跡	三宅中8丁目	奈良時代～中世 集落跡	昭和62年事務所付倉庫 建設に伴い発見。
101 ～ 133	松原市周辺遺跡			

表 ① 発掘届出・通知件数

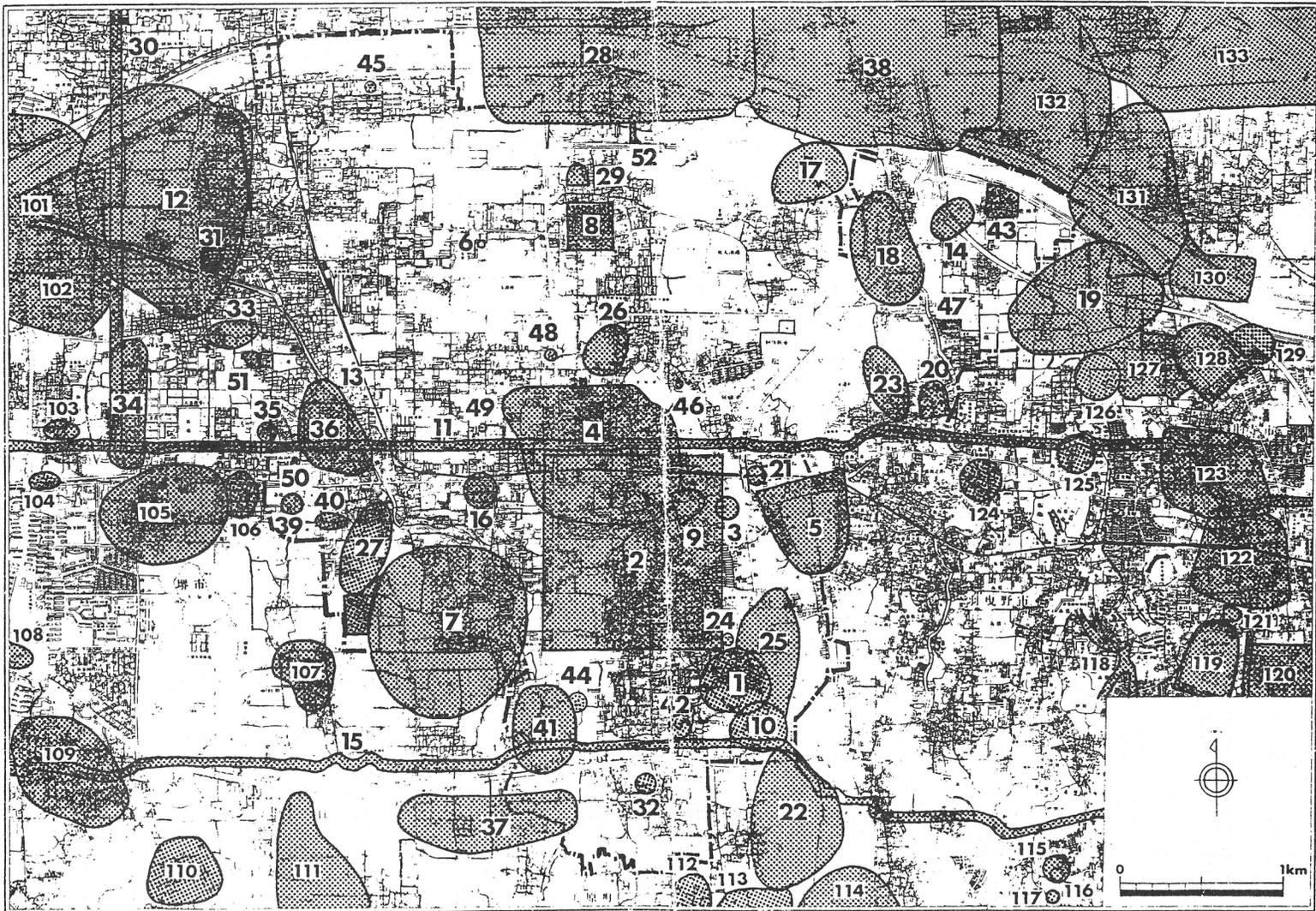
種別 \ 年度	57	58	59	60	61	62
慎重施行	146	190	191	253	308	273
立会調査	10	10	4	19	34	25
発掘調査	96	83	78	120	145	141
合計	252	283	273	392	487	439

表 ② 事業者別届出・通知件数

事業者 \ 年度	57	58	59	60	61	62
国・公社・公団	6	17	20	—	1	1
大阪府	1	5	7	8	7	6
松原市	49	50	54	84	89	92
関電・大阪ガス	94	118	105	134	181	130
一般業者	12	28	32	23	37	50
個人	90	65	55	123	144	138
N T T	—	—	—	18	23	18
その他	—	—	—	2	5	4
合計	252	283	273	392	487	439

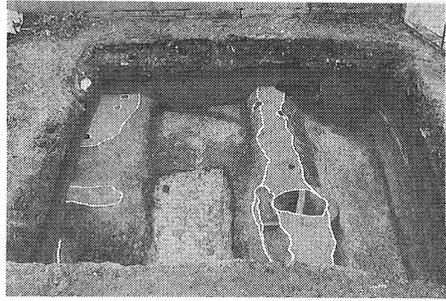
表 ③ 調査件数

調査内容 \ 年度	57	58	59	60	61	62	
立会調査	7	17	15	25	41	34	
試掘調査	6	12	74	73	59	75	
発掘調査	予備調査	66	62	57	91	114	119
	本調査	4	3	7	6	10	20
合計	83	94	153	195	224	248	



① 大和川今池遺跡〔調査地番：天美西2丁目地内〕

防火水槽設置に伴って大和川遺跡の東部において調査を実施した。調査の結果、鎌倉時代中頃の幅2m以上の東西溝、土壌を検出した。この溝底からは完成の瓦器碗が出土している。



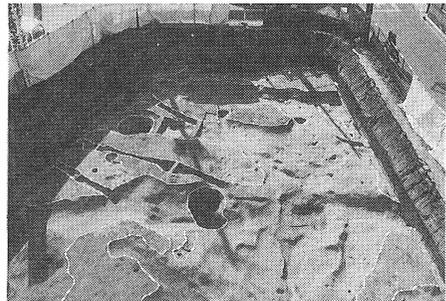
② 高見の里2丁目所在遺跡〔調査地番：高見の里2丁目35-3他〕

調査区は市内中央部を東西に走る長尾街道（古くは大津道と呼ばれていた）の北60mにおいて分譲住宅建設に伴って発見された、弥生時代から中世に至る集落遺跡である。調査の結果、南北に流れる河川、土壌、柱跡等を検出した。河川からは市内でも出土例の少ない弥生時代前期の壺・甕や木製品の他、石器等が多数出土した。



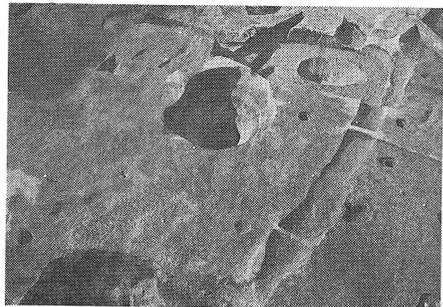
③ 上田町遺跡〔調査地番：阿保5丁目209-3他〕

市内中央に存在する開析谷の名残である海泉池の西隣に位置する。今回の調査は共同住宅建設に伴って実施した結果、海泉池を利用した灌漑用の溝、井戸等の平安から鎌倉時代の遺構・遺物を検出した。溝からは平安時代の土師器、須恵器の他、黒色土器碗が出土している。



④ 上田町遺跡・大津道〔調査地番：阿保1丁目2-30〕

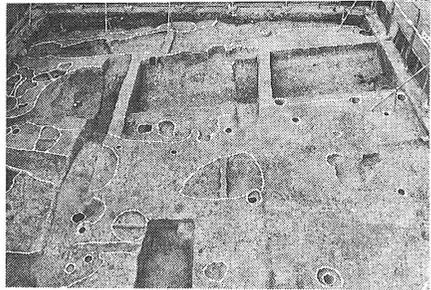
調査区は古代の官道である大津道（長尾街道）の北沿いに位置する。調査は商工会議所建設に伴って実施した結果、複数の生活面が確認された。下層は弥生時代後期の溝、中層は中世の土壌、井戸、溝、柱跡、上層からは近世以構の溝、井戸が検出された。



中層からの土壌からは鎌倉時代の羽釜が2点埋納されていた。

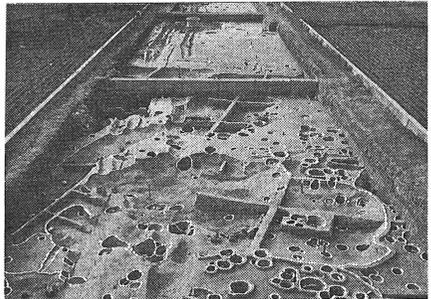
⑤ 丹比柴籬宮跡〔調査地番：上田7丁目193-1〕

宮跡の中央部 柴籬神社の西側において分譲住宅建設に伴って調査を実施した結果、平安時代の溝、土壌及び近世の堀立柱建物、溝、土壌を検出した。平安時代の溝からは土師器、瓦等が出土した他、近世の建物の柱跡からは土鈴等が出土している。



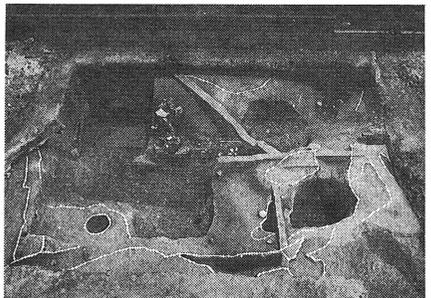
⑥ 柴垣2丁目所在遺跡〔調査地番：柴垣2丁目地内〕

平安時代の寺院である観音寺跡の北に位置する遺跡。今回の調査は市道建設に伴って実施した。調査の結果、古墳時代の南北溝、平安から鎌倉時代の堀立柱建物、土壌、井戸等を検出した。これらからは当時の日常雑器であった瓦器、土師器、陶器、中国からの輸入品であった白磁碗が出土した他、多数の瓦が出土しており、観音寺との関係に注目されるものであった。



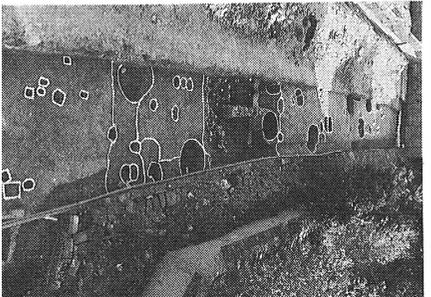
⑦ 小川町所在遺跡〔調査地番：小川町31-17〕

東除川右岸に位置する遺跡。分譲住宅建設に伴う調査によって、古墳時代の溝、飛鳥時代の井戸、中世の土壌等を検出した。古墳時代の溝は北流す幅2m以上、深さ約2mの溝で、溝中からは完形の須恵器坏が多数出土している。



⑧ 丹南3丁目所在遺跡〔調査地番：丹南3丁目673-1他〕

江戸時代に高木氏が藩主を務めた丹南藩の陣屋跡、また奈良時代に活躍した行基の創設と伝える来迎寺



の西に位置する。

倉庫建設に伴って調査した結果、寺院に関する溝、土壌、柱跡の遺構が検出された。

遺構内からは鎌倉時代の瓦・瓦器・土師器・陶器等が出土している。また、池染も検出されており、多数の近世陶磁器、瓦等が出土している。

○市歌

(昭和30年9月27日
設 定)

M.M.J-108

上嶋久恵 作詞
菅志邦三 補作
樋口昌道 作曲

あかるく おおらかに

な に わ の み な み に し え の

は じ め か ど く ら い せ し れ

き し か が や く ま つ ぼ ら し わ

れ ら の き よ う ど あ あ う る わ し や

- | | | |
|---|--|---|
| <p>三、</p> <p>平和の松の旗じるし
高き文化の色そめて
朝日に映ゆる松原市
われらの郷土 ああ栄あれ</p> | <p>二、</p> <p>産業日々にすすみゆき
仰ぐ金剛信貴生駒
黎明つぐる松原市
われらの郷土 ああ光あれ</p> | <p>一、</p> <p>浪花の南いにしえの
反正のみかどの位せし
歴史かがやく松原市
われらの郷土 ああ美わしや</p> |
|---|--|---|

松原の教育

(平成元年度版)

発行日	平成元年 12月
発行所	松原市教育委員会
編集	管理部 総務課 ☎ (0723) 34-1550(代)
印刷	ハンカイ出版印刷株式会社 ☎ (0722) 54-5555(代)